

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-533549 (P2004-533549A)
 【公表日】平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-043
 【出願番号】特願 2002-585725 (P2002-585725)
 【国際特許分類】

D 0 6 B 11/00 (2006.01)

B 4 1 J 3/407 (2006.01)

【F I】

D 0 6 B 11/00 A

B 4 1 J 3/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電氣的に作動されたパターンニング装置を用いて、吸収性基材上に、マルチカラーパターンを作成する方法であって、前記パターンは、前記基材上に個々のカラー画素のアレイとして、限定され、及びもたらされ、前記パターンニング装置は、比較的少数の使用可能なプロセスカラーを有し、及び前記パターンニングは、プロセスカラーの数よりも実質的に多数のカラーを表示し、

a) 使用可能なマルチカラーターゲットパターンをデジタル形式で作製し、前記基材上に再現する工程、

b) 前記パターンニング装置によって使用される、レッド、グリーン、マゼンタ、イエロー、及び少なくとも他の 1 色を含むプロセスカラーを選択し、前記ターゲットパターンを再現する工程、

c) 前記プロセスカラーを含むディザリングパレットを確立する工程、

d) 前記ディザリングパレットを用いて、前記ターゲットパターンのディザ画像をディスプレイ装置上にもたらす工程、及び

e) 前記ディザ画像を、画素様のパターンニングを行う指示に変換する工程を含むマルチカラーパターン作成方法。

【請求項 2】

前記吸収性基材は、織物床材であって、前記 e) 工程の後に、f) 前記床材基材上に前記ターゲットパターンを再現するための前記パターンニング指示に対応して、前記床材基材上に、前記プロセスカラーに応じた液体着色剤を選択的に分配する工程をさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記パターンニング装置は、単一の特定画素内に少なくとも 2 つの着色剤を選択的に分配することにより、前記基材上にプロセス着色剤のその場でのブレンドを作成し得る請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記請求項 3 に記載の方法で得られた製品。

【請求項 5】

前記ディザリングパレットの確立の前に、前記パターンニング装置により再現されるように、前記プロセスカラー及びその場でのブレンドを、前記ディスプレイ装置上で観察し、前記プロセスカラー及び前記ブレンドの見本を有するテストプランケットと視覚的に適合する請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記その場でのブレンドは、その中にプロセス着色剤が分配された画素の境界を超えて、プロセス着色剤のマイグレーションとなる前記基材上のカラーの形成を含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の方法で得られた製品。

【請求項 8】

前記カラー形成は、前記基材上に前記パターンニング装置による過飽和の画素の選択的な形成、前記過飽和の画素に直接に適應する前記パターンニング装置による不飽和の画素の選択的な形成、及び前記過飽和の画素から不飽和の画素へのプロセス着色剤のマイグレーションを含む請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

請求項 8 の方法で得られた製品。

【請求項 10】

少なくとも 1 つの過飽和の画素を、前記過飽和の画素内で、前記パターンニング装置によって、少なくとも 2 つの異なるプロセス着色剤を分配することにより形成した請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の方法で得られた製品。

【請求項 12】

前記選択されたプロセスカラーは、少なくとも 5 つのプロセスカラーを含み、及び前記プロセスカラーは、レッド、グリーン、マゼンタ、イエロー、及びブルーとシアンとの組合せを表すカラーを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 13】

前記選択されたプロセスカラーは、少なくとも 6 つのプロセスカラーを含み、及び前記プロセスカラーは、レッド、グリーン、マゼンタ、イエロー、ブルーとシアンとの組合せを表すカラー、及びホワイト、クリアー、ブラック、ライトベージュ、ライトグレー、ミディアムグレー、及びタンからなる群から選択される 1 つのカラーを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 14】

前記選択されたプロセスカラーは、少なくとも 7 つのプロセスカラーを含み、及び前記プロセスカラーは、レッド、グリーン、マゼンタ、イエロー、ブルーとシアンとの組合せを表すカラー、及びホワイト、クリアー、ブラック、ライトベージュ、ライトグレー、ミディアムグレー、及びタンからなる群から選択される 2 つのカラーを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 15】

前記選択されたプロセスカラーは、少なくとも 8 つのプロセスカラーを含み、及び前記プロセスカラーは、レッド、グリーン、マゼンタ、イエロー、ブルーとシアンとの組合せを表すカラー、及びブラック、ライトベージュ、及びライトグレーを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 16】

前記選択されたプロセスカラーは、少なくとも 9 つのプロセスカラーを含み、及び前記プロセスカラーは、レッド、グリーン、ブルー、マゼンタ、シアン、イエロー、ブラック、ライトベージュ、及びライトグレーを含む請求項 3 に記載の方法。

【請求項 17】

前記パターンニング装置は、9より多いプロセスカラーを有し、前記プロセスカラーは、ホワイト、クリアー、ミディアムグレー、及びタンからなる群から選択される少なくとも1つのカラーをさらに含む請求項16の方法。

【請求項18】

前記ディザリングパレットの確立の前に、前記パターンニング装置により再現されるように、前記プロセスカラーと前記ブレンドを、モニターで観察し、前記プロセスカラーと前記ブレンドの見本を有するテストブランケットと視覚的に適合させる請求項15に記載の方法。

【請求項19】

前記その場でのブレンドは、その中にプロセス着色剤が分配された画素の境界を超えて、プロセス着色剤のマイグレーションとなる前記基材上のカラーの形成を含む請求項15に記載の方法で得られる製品。

【請求項20】

前記カラー形成は、前記基材上に前記パターンニング装置による過飽和の画素の選択的な形成、前記過飽和の画素に直接に適応する前記パターンニング装置による不飽和の画素の選択的な形成、及び前記過飽和の画素から不飽和の画素へのプロセス着色剤のマイグレーションを含む請求項19に記載の製品。

【請求項21】

前記その場でのブレンドは、その中にプロセス着色剤が分配された画素の境界を超えて、プロセス着色剤のマイグレーションとなる前記基材上のカラーの形成を含む請求項16に記載の方法で得られる製品。

【請求項22】

前記カラー形成は、前記基材上に前記パターンニング装置による過飽和の画素の選択的な形成、前記過飽和の画素に直接に適応する前記パターンニング装置による不飽和の画素の選択的な形成、及び前記過飽和の画素から不飽和の画素へのプロセス着色剤のマイグレーションを含む請求項21に記載の製品。

【請求項23】

前記その場でのブレンドは、その中にプロセス着色剤が分配された画素の境界を超えて、プロセス着色剤のマイグレーションとなる前記基材上のカラーの形成を含む請求項17に記載の方法で得られる製品。

【請求項24】

前記カラー形成は、前記基材上に前記パターンニング装置による過飽和の画素の選択的な形成、前記過飽和の画素に直接に適応する前記パターンニング装置による不飽和の画素の選択的な形成、及び前記過飽和の画素から不飽和の画素へのプロセス着色剤のマイグレーションを含む請求項23に記載の製品。

【請求項25】

電氣的に作動されたパターンニング装置を用いて、吸収性基材上に、マルチカラーパターンを作成する方法であって、前記パターンは、前記基材上に個々のカラー画素のアレイとして、限定され、及びもたらされ、前記パターンニング装置は、比較的少数の使用可能なプロセスカラーを有し、及び前記パターンニングは、プロセスカラーの数よりも実質的に多数のカラーを表示し、

a) 使用可能なマルチカラーターゲットパターンをデジタル形式で作製し、前記基材上に再現する工程、

b) 前記パターンニング装置によって使用される、シアン、ブルー、レッド、イエロー、及びグレーを含むプロセスカラーを選択する工程、

c) 前記プロセスカラー及び前記プロセスカラーの前記ブレンドを含むディザリングパレットを確立する工程、

d) 前記ディザリングパレットを用いて、前記ターゲットパターンのディザ画像をディスプレイ装置上にもたらす工程、及び

e) 前記ディザ画像を、画素様のパターンニングを行う指示に変換する工程を含むマル

チカラーパターン作成方法。

【請求項 26】

f) 前記プロセスカラーに応じたプロセス着色剤を前記パターンニング装置に導入し、前記パターンニング指示に対応して、前記プロセス着色剤を画素様の形で前記基材に適用する工程をさらに含む請求項 25 に記載の方法。

【請求項 27】

前記パターンニング装置は、単一の特定画素内に少なくとも 2 つの前記着色剤を選択的に分配することにより、前記基材上にプロセス着色剤のその場でのブレンドを作成し得る請求項 26 に記載の方法。

【請求項 28】

g) 前記パターンニング装置のカラーウェイから除かれるべき少なくとも 2 つの前記プロセス着色剤を含む、プロセス着色剤の 1 つの組を限定する工程、及び

h) 前記パターンニング装置に、置き換える対応プロセス着色剤と同じかまたはより強い色合いを有する各置き換えプロセス着色剤を代用することにより、前記組を含む各プロセスカラーを置き換える工程をさらに含む請求項 27 に記載の方法。

【請求項 29】

前記組を含むプロセス着色剤のパターンニング装置内への供給が切れる前に、前記置き換えプロセス着色剤は、前記置き換え着色剤を前記パターンニング装置に導入することによって置き換えられる請求項 28 に記載の方法。

【請求項 30】

前記その場でのブレンドは、その中にプロセス着色剤が分配された画素の境界を超えて、プロセス着色剤のマイグレーションとなる前記基材上のカラーの形成を含む請求項 29 に記載の方法。

【請求項 31】

請求項 30 に記載の方法で得られた製品。

【請求項 32】

前記カラー形成は、前記基材上に前記パターンニング装置による過飽和の画素の選択的な形成、前記過飽和の画素に直接に適応する前記パターンニング装置による不飽和の画素の選択的な形成、及び前記過飽和の画素から不飽和の画素へのプロセス着色剤のマイグレーションを含む請求項 30 に記載の方法。

【請求項 33】

請求項 32 に記載の方法で得られた製品。

【請求項 34】

前記組は、レッド、グレー、及びイエロープロセスカラーに相当するプロセス着色剤を含む請求項 28 に記載の方法。

【請求項 35】

プロセス着色剤の取り合わせを用いて吸収性基材にパターンを与える方法であって、前記着色剤は、異なるカラーの液体着色剤が各液体アプリケーションを通して基材上に向けられたパターンニング装置により画素様型式で与えられ、前記アプリケーションは、各々、特定の色の着色剤を用いて供給され、少なくとも 1 つのアプリケーションに供給されている第 1 の着色剤は、前記第 1 の着色剤が前記アプリケーションからパージされる前に、前記アプリケーション内で第 2 の着色剤に置き換えられ、前記第 2 の着色剤は、前記第 1 の着色剤と同様の色合い及びそれよりも強い色強度を有し、前記第 1 の着色剤の使用及び第 2 の着色剤の使用の間の移行は、基材上に生じる結果的なパターンでは視覚的に控えめである方法。

【請求項 36】

前記基材は、床材織物である請求項 35 に記載の方法。

【請求項 37】

請求項 36 に記載の方法で得られた製品。